

「ライオン統合レポート 2023」の一部訂正について

「ライオン統合レポート 2023」の一部記載に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。なお、当社ウェブサイトには、訂正済みの資料を掲載しています。

<訂正内容>

14 ページ

Positive Habits を通じたサステナビリティ ～すすぎ回数 1 回実施率の変化による効果～

年間 CO2 排出量 削減効果

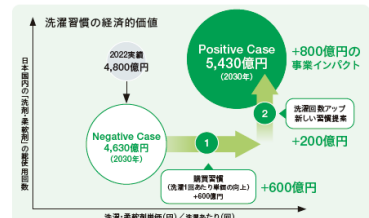
【訂正前】 16 万 t → 53 万 t
 実施率 30% 実施率 100%時

【訂正後】 13 万 t → 44 万 t
 実施率 30% 実施率 100%時

年間節水効果

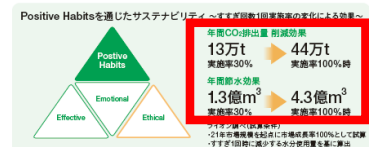
【訂正前】 13 億 m³ → 43 億 m³
 実施率 30% 実施率 100%時

【訂正後】 1.3 億 m³ → 4.3 億 m³
 実施率 30% 実施率 100%時



1. Negative Caseは、洗濯回数、洗濯時間、洗濯剤の使用量の2022年実績値の場合
 2. Positive Caseは、洗濯回数(標準/高)を現状(標準)から24%増加し、すすぎ回数(標準/高)を現状(標準)から10%増加させた場合
 3. すすぎ回数(標準/高)を現状(標準)から10%増加させた場合
 4. すすぎ回数(標準/高)を現状(標準)から10%増加させた場合
 5. すすぎ回数(標準/高)を現状(標準)から10%増加させた場合
 6. すすぎ回数(標準/高)を現状(標準)から10%増加させた場合
 7. すすぎ回数(標準/高)を現状(標準)から10%増加させた場合
 8. すすぎ回数(標準/高)を現状(標準)から10%増加させた場合

のCO₂排出量の削減効果は、現状の13万tから44万tまで増やすことができますし、節水による水の使用量も削減でき、一層、環境貢献を果たすことが可能です。



2023年11月2日
 ライオン株式会社